

Photo：広川ダムから見た朝日

令和3年の年頭を迎えるに当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、日ごろから町政の推進にあたり、多大なご支援、ご協力を賜り心から感謝いたします。

昨年、感染拡大を繰り返した新型コロナウイルスは、経済を始めあらゆる領域に大きな影響を与え、人々の生活に危機をもたらしました。既存の政策だけでは対応しきれない困難な状況が、今後も続くと予想されます。国、自治体が一体となり、総力をあげて対応することが、これまでも増して強く求められることでしょう。

東京一極集中を解消するため、国は地域の多様性を重視した「分散する社会」を目指しています。地方が見直されつつある中、広川町では、令和3年度から3年間のまちづくりの方向性を示す「広川町第4次総合計画（改訂版）」をスタートさせます。誰もが元気で笑顔に満ちたまちを将来像に、町民一人ひとりが主

体的に参画・協働するまちづくりを共通の目標としていきます。役場新庁舎については、町民が利用しやすいまちづくりの拠点、防災拠点としての役割を果たす庁舎を建築中です。

このコロナ禍の時代を大きな転換期ととらえ、今後も町民の皆さまとともに、新しい地域社会のあり方などを求めながら、持続可能な行政運営に努めていきます。町民の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆さまにとって、辛多からんことをお祈りし、新年のごあいさつとします。

広川町長 渡邊 元喜
副町長 飯田潤一郎
教育長 吉住 政子



広川町長
渡邊元喜

年頭のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、日ごろから議会活動に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

世界中に広がった新型コロナウイルスは、今なお終息が見えず、経済活動や学校教育、子育て中の家庭など、いたるところに影響を及ぼしています。心よりご慰労申し上げますとともに、ワクチンや治療薬の一日も早い普及を願うばかりです。

菅総理大臣は「自助・共助・公助」が適切に組み合わせられた国づくりをしていきたいと語っています。本町では早くから「まちづくり」を進めてきました。コロナ禍で地域コミュニティの重要性はさらに高まっている状況です。引き続き、町とともに「まちづくり」に努めていきます。

町民の健康対策や子育て支援、自然災害への備えなど、安全安心な生活基盤向上のための課題はつきません。それらの解決のためにも、持続可能な財政運営を構築し、町の

将来を担う皆さまにつないでいく必要があります。

皆さまの声を行政に反映させるため、今後も各自の信念に基づき活動していきます。本年も、より一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。

新しい年が皆さまにとって幸多き年でありますようお願いし、新年のごあいさつとします。

広川町議会

議長 野村泰也

副議長 梅本 哲

議員 山下 茂

竹下英治

江藤義代子

丸山修二

池尻浩一

野田成幸

丸山幸弘

栗原福裕

水落龍彦

光益良洋

原野利男



広川町議会議長
野村泰也